

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和4年度事業点検・評価調査

5- II -8

5- II -8

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	8 空き家利活用事業	事業主体	佐渡市移住交流推進課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡市環境対策課、佐渡市建設課、佐渡市世界遺産推進課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市景観形成区域で空き家の利活用を促進し、地域の活性化を図ることで景観保全や資源活用につなげる。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家の利活用について、積極的な周知・広報を行うとともに、所有者とのマッチングや景観保全に必要な情報提供など、相談窓口機能の強化を図る。特に市景観計画における相川地区や笹川地区の特別区域においては歴史性を重視する。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的町なみを活かした空き家などを活用し移住者受入の環境を創出し、移住者受入550名を目指す。</li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家活用PRリーフレットや佐渡市空き家情報システムを使い、空き家の利活用に向けた周知・広報を行った。</li> <li>○ 空き家の利活用に関する相談会を開催した。</li> <li>○ 相川京町、宿根木等の歴史的町なみを活かした空き家を移住希望者や多拠点居住者向けの拠点として整備し運用している。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家活用コーディネーターや市内不動産事業者と連携し、空き家相談会を市内で4回程度開催する。</li> <li>● 佐和田地区空き家を移住希望者向けのお試し住宅として改修する。</li> </ul> <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家相談会を8月と2月に計4日間開催し、21組から相談を受け、空き家の利活用を促した。</li> <li>● ベンチャー企業のスタートアップを支援するため、R3年度に引続き、真野地区の商店街にある空き家となった古民家をインキュベーションセンターとしてリノベーションした。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今後の人口減少に伴い新たな空き家増加が懸念されるが、コロナ後の観光交流人口やインバウンドの回復を見込み、宿泊施設の確保も必要であることから、空き家所有者や当該事業者とも連携を図り、利活用を促す体制づくりを行う必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き家所有者への利活用を促す案内や空き家セミナーでのPRリーフレットの配付等の周知を行うと共に空き家の相談窓口体制の強化を図る。</li> <li>■ 地域まちづくり団体や民間協議会および専門事業者とも連携し、佐渡市の歴史的施設や空き家古民家などを活用した分散型観光滞在施設(宿泊、店舗等)の計画を進める。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 空き家相談会を開催し、空き家物件の利活用につなぐことができた。 [ A・<b>B</b>・C ] 空き家を活用し分散型ホテル事業を展開する県外企業を誘致できた。</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。